【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【公表番号】特表2015-517812(P2015-517812A)
【公表日】平成27年6月25日(2015.6.25)
【年通号数】公開・登録公報2015-041
【出願番号】特願2015-514287(P2015-514287)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｈ　5/10　(2006.01)
Ａ０１Ｈ　1/00　(2006.01)
Ａ０１Ｈ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｈ　5/10
Ａ０１Ｈ　1/00　Ｚ
Ａ０１Ｈ　5/00　Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成29年8月21日(2017.8.21)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
人工種子を調製する方法であって、
植物種子の源を準備する工程と、
種子を表面滅菌工程に付す工程と、
表面滅菌した種子から種子胚を単離する工程と、
種子胚に1種または複数の共生生物を接種し、接種した種子胚をコーティングで被覆して人工種子を形成する工程と
を含む、方法。
【請求項２】
被覆の前に種子胚に1種または複数の共生生物を接種する、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
種子胚に共生生物を直接接種し、前記共生生物がエンドファイト菌糸体である、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
人工種子が第2のコーティング層を含む、請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
第2のコーティング層が追加された栄養素を含む、請求項４に記載の方法。
【請求項６】
第2のコーティング層が養分欠乏層である、請求項４に記載の方法。
【請求項７】
植物種子が牧草及びマメ科からなる群より選択される植物に由来する、請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
種子胚の集団に共生生物の集団が接種される、請求項１～７のいずれか一項に記載の方法。

【請求項９】
方法がさらに、
人工種子を育成して小植物または実生を形成する工程；および
共生生物の存在について小植物または実生をスクリーニングする工程
を含む、請求項１～８のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１０】
スクリーニング工程が、人工種子および／またはそれらの子孫を、適合性および／または安定性について、老化促進によってスクリーニングし、所望の特徴を示す共生体を選択することを含む、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
選択された共生体を迅速なエンドファイト生存能アッセイに付す工程をさらに含む、請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
1種または複数の共生生物が真菌エンドファイトである、請求項１～１１のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１３】
種子胚を処理して、1種または複数の共生生物の1つまたは複数の侵入点を創製する、請求項１～１２のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１４】
植物胚が、1種または複数の共生生物で接種され、コーティングで被覆してカプセル化されている、人工種子。
【請求項１５】
第2のコーティング層で被覆されている、請求項１４に記載の人工種子。
【請求項１６】
第2のコーティング層が追加された栄養素を含む、請求項１５に記載の人工種子。
【請求項１７】
第2のコーティング層が養分欠乏層である、請求項１５に記載の人工種子。
【請求項１８】
植物胚が牧草及びマメ科からなる群より選択される植物に由来する、請求項１４～１７のいずれか一項に記載の人工種子。
【請求項１９】
1種または複数の共生生物が真菌エンドファイトである、請求項１４～１８のいずれか一項に記載の人工種子。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１０】
その全開示内容が参照によって本明細書に組み込まれる、2012年6月1日および2012年9月7日に提出した「新規生物」と題した米国特許出願は、複数の生物で複数の共生を展開する方法を記載しており、育種プロセスの早期に、改善された共生の適合性とパフォーマンスを選択することを記載している。つまり、共生生物の遺伝子型の組み合わせが育種され、最初からの改善された共生体の適合性とパフォーマンスを含む所望の特性についてスクリーニングされる。これを容易にするために、出願人は、人工種子生産と接種方法によって共生体の大規模な確立のための方法を開発した。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７２
【訂正方法】変更

【訂正の内容】
【００７２】
植物内で高い適合性があり安定している反対の交配型のエンドファイトの同定は、ペレニアルライグラスのためのエンドファイトの分子育種のための手段を提供する。好ましくは、植物は、ハイパー接種によって感染され得る。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７３】
対の接合型のエンドファイト菌株間の菌糸融合は、好ましくは、ハイパー接種によって、宿主植物に有利な形質をもたらすための手段を提供する。このような株は、好ましくは、広い範囲の生殖質での高い接種頻度と高い適合性という良好な特性を示すエンドファイト株を含む群から選択され、好ましくはエリートペレニアルライグラスおよびトールフェスクのホスト生殖質と、非常に良好なアルカロイド毒素プロファイルを有するエンドファイトである。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００９０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００９０】
この特許出願は、植物/エンドファイト共生体などの植物と共生生物との共生体の適合性および/または安定性を評価する方法を記載し、この方法は、
そのような真菌エンドファイトを接種した植物の胚等の共生生物を含む種子の供給源を提供すること、および
それに老化促進を適用することにより、植物-真菌エンドファイトの共生体等の植物/共生生物アソシエーション（すなわち共生体（symbiota））の適合性および/または安定性について、前記種子及び／又はそれらの子孫をスクリーニングすること、
を含む。
【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００９４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００９４】
従って、本発明の方法にはさらに、以下
共生生物、例えば真菌エンドファイトを接種した植物胚を含む、種子の供給源を提供すること；
それに老化促進を適用することにより、植物-真菌エンドファイトの共生生物等の植物/共生生物アソシエーション（すなわち共生体（symbiota））の適合性および/または安定性について、前記種子及び／又はそれらの子孫をスクリーニングすること；および
選択された共生生物（シンビオータ）集団を、急速な、真菌エンドファイト等の共生生物（シンビオント）の生存率アッセイに付すこと；
を含む、植物-真菌エンドファイト共生体等の植物共生アソシエーション（すなわち複数の共生体（symbiotum））の適合性および/または安定性を評価することが含まれ得る。